

宇治市における保幼小の切れ目ない連携の取組

全ての就学予定児を対象に各小学校で実施

- ・保幼小連絡会（年2回）... 3月（就学前）、5～6月（就学後）
- ・半日体験入学、保護者説明会... 1～2月
教育委員会・生涯学習センター主催
幼小合同研修講座（年1回）

| 取組内容 | | 接続カリキュラム | | 園児・児童・教員の交流 | | | |
|-------|----------|------------------|------------------|------------------|-----|-------|--------|
| 年度 | | R3 | R2 | R元 | H30 | H29 | H28 |
| 実践報告者 | | 公立幼稚園教諭 小学校教諭 | 公立幼稚園教諭 小学校教諭 | 民間こども園長 小学校教諭 | | 小学校教諭 | 公立幼稚園長 |
| 参加者 | 公立幼稚園 | 15 | 11 | 13 | 16 | 16 | 13 |
| | 私立幼稚園 | 7 | 2 | 2 | 15 | 7 | 20 |
| | 公立保育所 | 7 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 |
| | 民間保育所(園) | 3 | 2 | 1 | 6 | 3 | 5 |
| | 民間こども園 | 5 | 5 | 8 | 4 | 3 | 2 |
| | 小学校 | 17 | 13 | 13 | 23 | 22 | 20 |
| 計 | | 54 | 33 | 38 | 65 | 51 | 61 |

○ 令和2・3年度の取組

宇治市立木幡幼稚園と木幡小学校が、5歳児後半と1年生前半のカリキュラムを協働で作成した。また、作成したカリキュラムについて宇治市の保幼小合同研修講座において他の就学前施設や小学校の受講者に紹介した。

○ 成果

互いの教育や保育への興味や関心が高まるとともに、子ども達の育ちや学びの姿を共に語り合うことや協働でカリキュラムを作成することの必要性を感じ、今後の自園・自校の取組に向けて、意欲的な感想や意見をもった受講者が多数見られた。

○ 課題

取り組んでみた小学校の意見として、一つの小学校に多くの就学前施設から児童が入学してくるため、一つの園とだけカリキュラムを作成しても活用しにくいという意見があった。

○ 令和4年度及び今後に向けた方向性

各小学校が核となり、近隣の就学前施設との会議を計画的・継続的に行う中で、乳幼児期の教育・保育を通じて身に付けたことを交流しながら、その育ちや学びを生かし合うカリキュラムを木幡幼稚園と木幡小学校が作成したカリキュラム案を基に、地域の実態や特色に応じて改善・実践を目指す。

令和3年度 宇治市立木幡幼稚園・宇治市立木幡小学校 接続カリキュラム

| 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 | 幼稚園（5歳児 8期） | | 入学 | 小学校（1年生 4・5月） | | 木幡小学校 学校目標 |
|--------------------------|---|---|----|--|---|------------------------|
| | ねらい | 留意事項 | | 目標 | 教科・領域・留意事項等 | |
| 自立心 | 幼稚園生活に充実感を味わい、就学への期待をもつ。 自分のしなければならないことを自覚し、遊びや仕事を最後までやり遂げる達成感や喜びを味わう。 | ・小学校の生活について知り、就学に安心感をもてるようにする。 ・当番活動の内容について、幼児と一緒に考え、主体的に取り組めるようにする。 | ➡ | 入学した喜びを感じ取り、自分のできることに進んで取り組もうとする。 先生や友達の話や座って聴く。 朝の用意や帰りの準備が自分でできる。 | ・入学式 ・1年生を迎える会 ・当番活動や準備の仕方など視覚的に分かるように工夫する。 | 挑 「挑戦」 努 「努力」 |
| 思考力の芽生え | 試行錯誤しながら遊ぶ中で、自分とは異なる考えがあることに気づき、自分の考えをよりよいものにしようとする。 | ・幼児の発見や気づきが生まれるような環境を意図的に作り、驚きや不思議さ、面白さを言葉にしなが共感する。 ・友達の様々な考えに触れられるような話し合いの機会を十分に持つ。 | | 自分と友達の意見が違うことを知り、互いの良さに気づく。 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。 | ・国語「はなのみち」 ・様々な意見が言える雰囲気を作られる。 | |
| 数量・図形、文字等 への関心・感覚 | 文字や数・量などに関心や感覚をもち、必要感に基づいて活用する。 | ・幼児が関心をもったことに存分に組み入れる生活を展開し、繰り返し遊ぶ中で数量や文字に親しめるよう環境を整える。 | | 10までの数に対する理解を深める。 10までの数のよみ方、かき方、数の系列、大小を理解する。 文字には筆順があることを知り、興味を持ってひらがなを覚える。 | ・算数「かずとすうじ」 ・書写「もじをかくしせい」「かきやすいもちかた」「えんぴつでかいてみよう」 | |
| 協同性 | 友達と共通の目的をもち、互いのよさを認め合いながら、協力して遊ぶことを楽しむ。 | ・友達と一緒に活動する中で、一人一人が自己を発揮し、互いのよさを認め合える関係が築けるよう、適時に援助する。 | ➡ | 友達と遊んだり、関わったりする活動を通して、そのよさや楽しさがわかる。 友達と協力して、係活動や当番活動ができる。 | ・生活「がっこうだいすきあいいうえお」 ・クラス遊びを多く設定する。 ・1年生を迎える会 | 絆 「絆」 |
| 道徳性・規範意識の芽生え | きまりを守る必要性が分かり、友達と折り合いを付けながら、自分たちできまりをついたり、守ったりする。 | ・幼児同士の気持ちのぶつかり合いや葛藤の場面を丁寧に捉え、幼児同士が思いを伝え合いながら、納得して折り合いを付ける経験ができるようにする。 | | 学校にはきまりのあることが分かり、進んで守ろうとする。 場面により、適した声の大きさを考えて話す。 学校の1日の流れを知る。 | ・生活「がっこうだいすきあいいうえお」 ・ルールがあることで、安心した学校生活ができることを知る。 | |
| 社会生活との関わり | 遊びや生活に必要な情報を取り入れ、伝え合ったり活用したりする。 身近な人との関わり方に気付く。 公共の場での過ごし方が分かる。 | ・幼児の関心に応じて環境を工夫し、幼児と情報との出会いをつくる。 ・生活に関わりが深い公共の場や施設を利用し、地域に親しみをもったり、公共心の芽生えを培ったりする。 | | 春の季節のよさを感じ取り、社会事象や行事について興味を持つ。 | ・1年生を迎える会 | |
| 言葉による伝え合い | 様々な絵本や物語の世界に親しみ、豊かな言葉を身に付ける。 言葉のやりとりを楽しむ中で、相手に分かるように言葉で伝えたり、先生や友達の話に注意して聞いて理解したりする。 | ・教師自身が豊かな表現を伝えるモデルとしての役割を果たすことで、様々な言葉に出会う機会をつくる。 ・幼児の状況に応じて言葉を付け加えるなどして、幼児同士の話が伝わり合うように援助する。 | ➡ | 自分の思いを言葉で相手に伝える。 返事をしたり、自分の名前を話したりする。 話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聴く。 正しい口形や発声の仕方に気を付けて音読をする。 | ・国語「ききたいな、ともだちのはなし」 ・国語「あさ」 ・話し手の方を向いて話を聴く習慣をつける。 ・話すときの適した声の大きさを知る。 | |
| 健康な心と体 | 友達と一緒に体を十分に動かして遊ぶ楽しさや充実感を味わう。 自ら健康で安全な生活をつくり出す。 生活の流れを意識したり、状況の変化を予測したりして、見通しをもって行動する。 | ・幼児が意欲的に体を動かしたくなるような環境を構成し、十分な時間を確保する。 ・交通安全に関する指導は、日常的な指導や保護者啓発を積み重ねる。 ・1日の流れや1週間の予定をわかりやすく掲示しておく。 | | 規則正しい生活のリズムが健康につながっていることを知る。 健康診断、身体測定や体力テストを通して、自分の健康や成長を考える。 体を動かす遊びに興味を持って取り組む。 安全な登下校の仕方を知る。 | ・健康診断、体力テスト等 ・体育「体づくり運動」 ・クラス遊びで体を動かす遊びを多く設定する。 ・学活 ・生活のリズムを整える。 | |
| 自然との関わり・生命尊重 | 栽培物などの生長の様子に興味や関心をもち、大切に世話をしようとする。 自然現象に親しみ、遊びに取り入れる中で、不思議さや美しさに気付く。 | ・命あるものをいたわり大切にすることを育めるよう援助する。 ・幼児が好奇心や探究心をもって身近な自然に関わる環境をつくり出す。 | | 植物に親しみをもって大切に育てる。 春に見られる昆虫や草花から、動植物にも命があることに気づく。 | 生活「げんきにそでわたしのはな」 ・春みつけなど、季節の変化を感じ取れるようにする。 | |
| 豊かな感性と表現 | 友達と共通の経験を生かしながら考えを出し合い、工夫して表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりする。 気持ちを込めて歌ったり、簡単なリズム楽器を使って友達と合奏したりする楽しさを味わう。 | ・多様な素材や用具などの環境を整え、幼児の表現意欲を満足させられるようにする。 ・音楽に関わる活動を十分に経験できるようにし、生活の中で音楽に親しむ態度を育めるよう援助する。 | ➡ | 友達の発表や作品のよさに気づき、自分の発表や作品づくりに生かそうとする。 音楽に合わせて体を動かしながら聴いたり歌ったりする。 | ・音楽「うたっておどってなかよくなるう」 ・自分なりの表現活動を認め合える雰囲気を作られる。 ・1年生を迎える会で、友達と発表することを楽しくめるようにする。 | 笑 「笑顔」 |